

カッとなって作るpost-commit



17th XP User Mtg.

2007.5.30

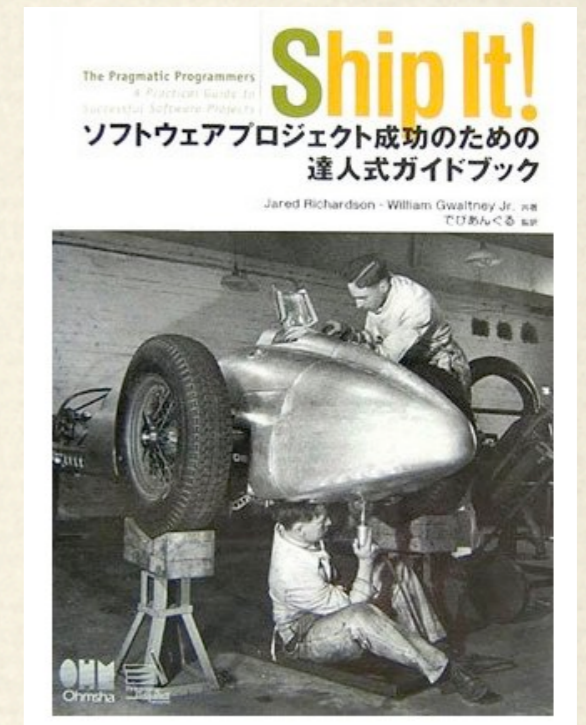
XPJUG あまのりよー

Ship It! より

practice14: コード変更通知の送信

このテクニックは導入にあたって非常に強硬な抵抗を受けるのが常ですが、しばらくするといつでも通知を確認出来る環境に誰もが慣れていきます。

そして、すぐに欠くことのできない重要なリソースとなるのです。



当時の状況

- ❖ 2005年秋、
私は とあるプロジェクトの
サブリーダーをやっていた

とあるプロジェクト

❖ あるカムコーダーの、



❖ バンドル PCアプリケーション群



サブリーダー

❖ 落ち穂拾い

📖 おちほ-ひろい 一ひろひ₄ 【落(ち)穂拾い】

goo辞書より

(1)落ち穂を拾い集めること。[季] 秋。《一日当る方へ歩み行く/蕪村》
(2)採り残したもののや漏れ落ちたものを拾い集めること。拾遺(しゅうい)。

- ❖ 各国語版のコトとか、
ライセンス関係のこととか、PFとか、 etc...
- ❖ 製品コードはほぼ書けない

製品コードはほぼ書けない

- ❖ フラストレーションが溜まる
- ❖ コードレビューとか担当して、
さらにフラストレーションが溜まる

書 待 方 しい

Happymanのオシエ

❖ オブラブ2005夏

「実践プロジェクトリーダー」 岡島幸男

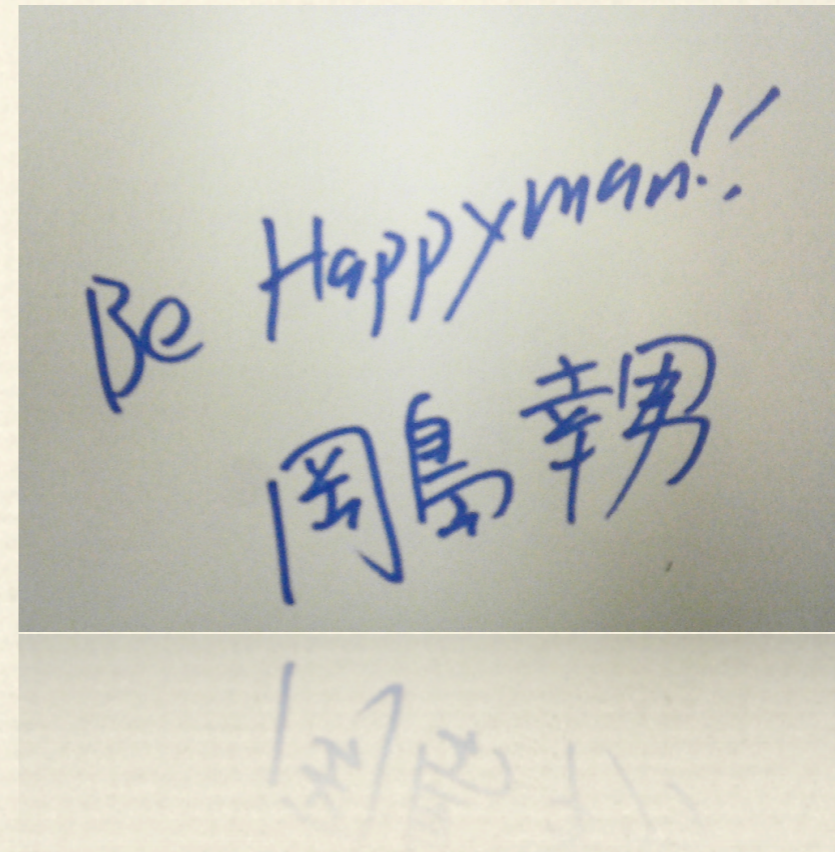
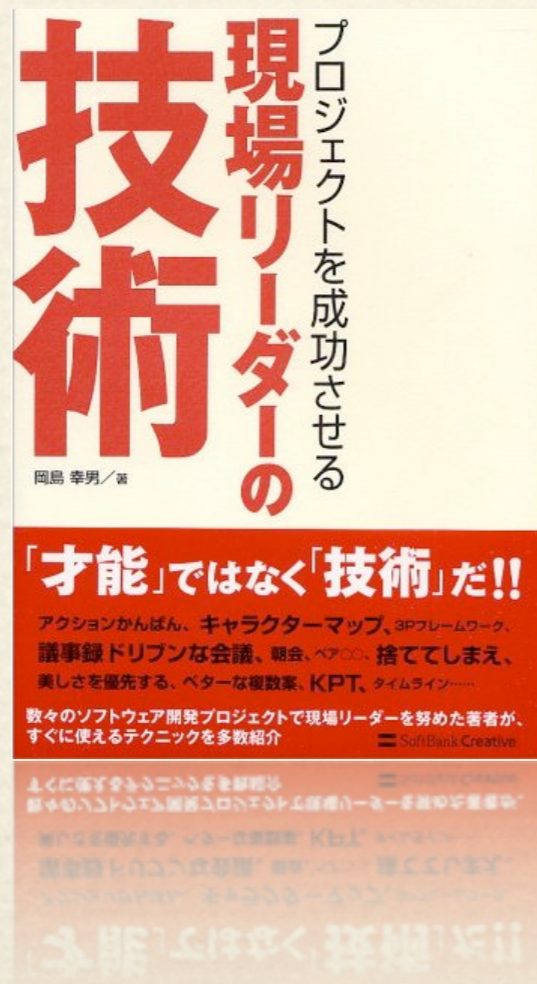
原則：伝家の宝刀はひっそりと抜く

- リーダーは、表立ってプログラミングをしないのが基本
 - 若いメンバーがリーダーに依存してしまう
 - ベテランが気を悪くするかもしれない
 - 「おいしいところ」をかつさわらない
- ただし、腕に覚えのないリーダーは、いざという時役に立たない
 - 全部わかったうえで、やらない
 - 技術面のポイント(アーキテクチャ)は、コミットする
 - メンバーと技術談義をする

補足

ーー

- ❖ 『プロジェクトを成功させる 現場リーダーの技術』
- ❖ 「想い」を文章に定着させた良書



Subversionへの移行

- ❖ ちょうどこの頃、
ソースコード等の管理をSubversionに移行
- ❖ cvsの頃には、
コミットメールの仕組みがあった
- ❖ {REPOS}/hooks/post-commit



ついでにカッとなっただ

作っちやえ

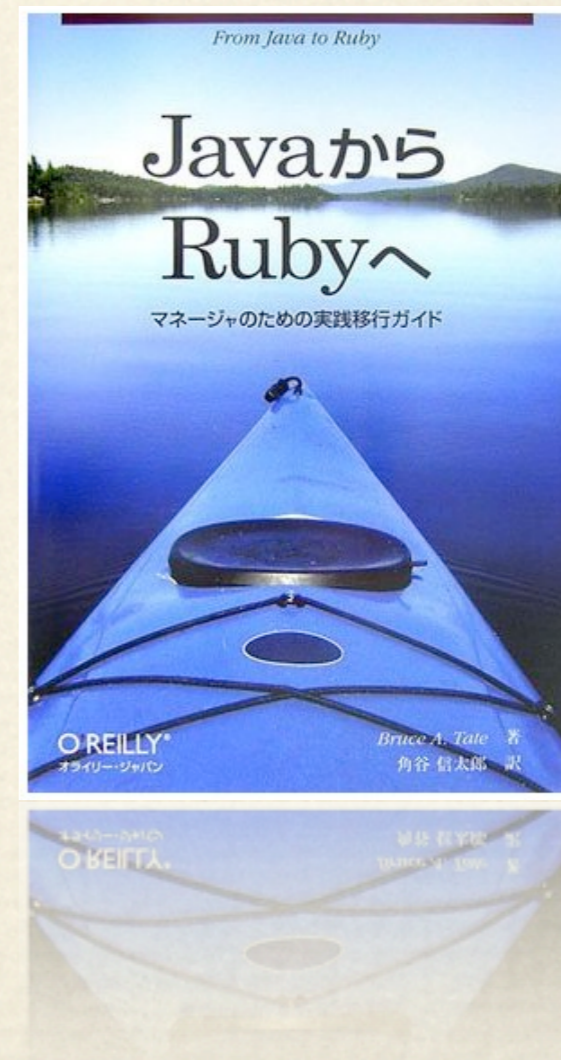


作っ ち

Ruby 𐄇

補足

- ❖ 『JavaからRubyへ』 角谷信太郎 訳
- ❖ 信頼とは何かを綴った良書
- ❖ Rubyでのプログラミングがなぜ楽しいかが伝わってくる



基本機能

- ❖ もちろんコミット通知メールを飛ばせる
- ❖ svn の ruby-bindings は使っていない
- ❖ 設定ファイルはリポジトリ自体から取得
- ❖ author に合わせて From: をつける
- ❖ 無視する author を設定出来る

通知メール例

User-Agent: amn svn commit mailer 0.9.03.200705014

From: amano@example.com

Subject: [Hoge] svn commit rev.2557

=====
Repository: D:/svnrepos/Hoge

Revision: 2557

Account: amano

Date: 2007-03-14 18:26:34 +0900 (水, 14 3 2007)

ChangeSet: <http://svn.example.com:10080/Hoge/changeset/2557>
=====

Log:

- ・ 今年の XP祭りは9/1(土)、場所は去年と同じ江戸川区総合文化センター
予定を空けておいてね♪
- ・ PFPの次回ワークショップは 6/7(木)、豊洲の日本ユニシス本社にて
絶賛受付中！

=====
Changed:

U branches/Task33/XPJUG.h

U branches/Task33/XPJUG.cpp

A branches/Task33/ProjectFacilitation.txt

目玉機能：キリ番通知

User-Agent: amn svn commit mailer 0.9.03.200705014

From: amano@example.com

Subject: 【キリ番通知】 5000

キリ番 5000 キタ————(・▽・)————!!!!

キタ————(°▽°)————!!!!

————(—(—(-((°▽°)))-)——)——!!!!

k t k r !! —————\ (°▽°) /————!!!!

げったーは「amano」だお♪

❖ これはちょっと、という方の為に
文面はカスタマイズ可能

でも・・・

ーー

- ❖ 一部の人に不評 orz
- ❖ 当時のプロジェクトではキリ番通知を断念
- ❖ 今の自分のプロジェクトでは使っているけど♪
- ❖ 倉貫さんのコトバを噛み締めながら

仕事を楽しむ事を躊躇してはいけない

特徴?

ーー

- ❖ 設定ファイルには、Ruby の class を書く
- ❖ 単なる横着?
- ❖ でも、どうせ管理するのもプログラマだし

post-commit.conf

```
class AllMatchRule
  def match(repos)
    return true
  end

  def to_addresses
    return 'amano@example.com'
  end

  def subject_prefix
    return '[HogePj]'
  end
end
```

❖ とりあえず、あらゆる場合に送る

post-commit.conf

```
class FizzBuzzBranchRule
  def match(repos)
    return (%r!/FizzBuzz/branches/! =~ repos)
  end

  def to_addresses
    return 'foo@example.com, bar@example.com, baz@example.com'
  end

  def subject_prefix
    return '[FizzBuzz/branch]'
  end
end
```

- ❖ FizzBuzz Pj. の、branches に
コミットがあった場合に送る

背景

- ❖ 異なるセット仕向けに対して、バンドルされるアプリケーションの組み合わせが微妙に異なる
- ❖ 結果として、各々のアプリケーションが一つのリポジトリに入っている
- ❖ コミットメールが飛ぶ条件と、通知先のルールを細かく制御したい

ま と め

ついでにカッとになって
post-commit

後悔しなくていい
別に

初期のころのは 公開している

```
■ コミットメール

基本的には vimrc (私のごく仲のいいヤツ) のでこんな呼び方は(気持ち悪いけど) が「conversionで日本語
る」で書いてある通り。若干、変更をしたので、ここに記録しておきます。

# エンコード変換を script だけでや

まず、iconv をコマンドで呼び出しているのを ruby 1.8.2 以降でやる前提で、nkf を使うようにします。
utf8 から iso-2022-jp への変換は、

require 'nkf'
jisStr = NKf.nkf('-W8 -j', utf8Str)

で OK。

# コミットログを utf8 で取得する

次に svnlog2utf8 コマンドは svnlook の結果が utf8 そのもので返ってくれば必要ないので、script の冒頭で
にします。(これは FreeBSD の場合で、このあたりの事情は多分 OS によって異なります)

ENV['LANG'] = 'ja_JP.UTF-8'

これをすると、svnlook date の結果にも曜日が日本語で utf8 で返って来たりするので、メールボディを先に
ンコード変換してやります。

# メールヘッダに少々細工
```


次にカツとなった時のネタ

~~~~~

## ❖ 設定の **YAML** 化

- あるプロジェクトでは、設定のメンテを非エンジニアがやるようになってきた

## ❖ コミットログに答える **人口無能搭載**

\*\*\*\*\*

ちょwww リファクタリングwwwww ギザカワユスwwwww

これ amano がやったの？

今夜、でり坊に集合ね。ヨンキュー

\*\*\*\*\*



A QUEUE!